

京都府立大学における令和3年度大学入学者選抜について（予告3）

令和元年12月2日

京 都 府 立 大 学

去る11月1日に、令和2年度に実施する令和3年度大学入試における英語の民間資格・検定試験の成績活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送り、延期することが文部科学大臣の記者会見で公表されました。

このことに伴い、先にお知らせいたしました令和2年度に実施する令和3年度大学入学者選抜について、その内容を見直し、一部変更しましたのでお知らせします。

【変更する内容】

1 一般選抜における英語の民間資格・検定試験の活用について

大学入学共通テストにおいて、英語を選択した場合は、独立行政法人大学入試センターが認定した民間資格・検定試験の成績をCEFRのランクに応じ加点するとしておりましたが、活用しないこととします。

そのため、令和3年度大学入学共通テスト及び本学個別学力検査の配点について、別紙1のとおり変更します。

なお、出願書類として提出を求めている「調査書」においては、他の検定や資格・受賞歴などと同様の取り扱いとします。

2 学校推薦型選抜における英語の民間資格・検定試験の活用について

生命環境学部生命分子化学科、農学生命科学科及び森林科学科においては、民間資格・検定試験の成績を活用するとしておりましたが、3学科とも活用しないこととします。

変更後の学科別の選抜方法及び3学科の配点は、別紙2のとおりです。

なお、出願書類として提出を求めている「志望理由書」において、英語の民間試験を含めた様々な資格・検定試験の取得実績を基に、本学への志望理由や入学後の目標などをアピールすることを妨げるものではありません。

また、「調査書」についても、他の検定や資格・受賞歴などと同様の取り扱いとします。